

シルク博物館平成26年度年報

シルク博物館

平成27年11月

シルク博物館平成26年度年報

目 次

1	ごあいさつ	2
2	建物の概要	3
3	平成26年度のおもな出来事	3
4	事業	3
(1)	年間の事業概要	3
(2)	展示事業	4
ア	常設展示	4
イ	春の企画展 「世界に羽ばたいたスカーフたち」	6
ウ	秋の特別展 「第23回全国染織作品展」	7
エ	企画展「親と子のかいこの自然科学教室」	7
オ	企画展「シルキークリスマス・ニューイヤー」	8
(3)	講演会・講習会事業	10
ア	くみひも実演と講習会	10
イ	手作り真綿の実演と講習会	10
ウ	まゆ人形作り（子ども向け）	11
エ	つまみかんざし講習会	11
(4)	学習支援事業	11
ア	理科教育用蚕種配布事業	11
イ	博物館実習生の受入れ	12
ウ	社会体験研修受入れ	12
(5)	後援等事業	12
(6)	テレビ・新聞・雑誌等による取材報道	13
(7)	資料収集・活用事業	14
ア	収集資料 39点	14
イ	所蔵資料などの貸出 12件33点	15
ウ	資料の特別利用 9件22点	17
(8)	シンクタンク機能	19
(9)	ボランティアによる博物館活動の支援	19
(10)	協力事業	19
(11)	視察等	20
5	資料	20
(1)	組織と職員	20
(2)	事業費	21
(3)	所蔵資料	21
(4)	入館者状況	22
(5)	過去の特別展・企画展一覧	23

1 ごあいさつ

シルク博物館は、絹の科学・技術の理解や、絹服飾の工芸美の鑑賞の場を提供するとともに、絹の需要促進を目的に、1959（昭和34）年3月に、横浜開港100年記念事業の一環としてシルクセンターの一角に開設されました。

本年度も、この目的を踏まえて、特別展や企画展等の開催、講演会、講習会等の実施、蚕の飼育展示および蚕種配布事業などに取り組みました。

特に、2014年6月に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録されましたが、これに関連して、神奈川県立歴史博物館、横浜開港資料館との3館が、初めてシルクをテーマにした連携展示「横浜絹回廊」に取り組みました。当館ではこの一環として、4月から7月まで春の企画展「世界に羽ばたいたスカーフたち」を開催しました。また、7月から8月には、世界文化遺産登録を記念して、横浜開港資料館と連携し「横浜の生糸貿易と生糸商人たち」のコーナー展示も行いました。

さらに、秋の特別展「第23回全国染織作品展」では、全国から186点の応募があり、厳正な審査の結果、入選作品78点を展示しました。

本年の来館者数は、人々のシルクに対する関心が高まったことなどもあり、久しぶりに増加しました。しかしながら、我が国の蚕糸絹業を取り巻く環境は、引き続き、厳しい状況でありますので、子どもから高齢者まで多くの皆様に蚕の不思議、絹の魅力やすばらしさを発信する中で、需要促進にも寄与していきたいと考えています。

皆様方には、シルク博物館の取り組みご理解いただき、従来にも増してご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

2015（平成27）年11月

シルク博物館

2 建物の概要

【博物館】

展示面積（2階）	798.00㎡（241.39坪）	※受付前、ミュージアムショップを含む
（3階）	558.03㎡（168.80坪）	
イベントホール	212.72㎡（64.35坪）	
第一収蔵庫	21.76㎡（6.58坪）	
第二収蔵庫	46.24㎡（13.99坪）	
映写室	24.48㎡（7.41坪）	
準備室	62.62㎡（18.94坪）	
図書室	67.80㎡（20.51坪）	

改装 昭和44年（開館10周年記念）
平成11年（開館40周年記念）
平成24年（開館53周年記念）

【シルクセンター】

所在地 神奈川県横浜市中区山下町1番地
構造 地下2階、地上9階、塔屋2階
建築面積 2,970㎡(900坪)
延床面積 24,983㎡(7,570.85坪)
設計監理 坂倉準三建築研究所
施工 鹿島建設株式会社
経過 起工 昭和32年11月
竣工 昭和33年11月（一部）、昭和34年3月12日（全館竣工）
開館 昭和34年3月12日

3 平成26年度のおもな出来事

- ・特別展を2回、企画展を2回開催した。
- ・講演会・講習会・実演を計51回開催した。
- ・一般財団移行記念オリジナル記念スカーフの制作
（原資料は横浜市所蔵「横浜スカーフ・アーカイブ資料」）

4 事業

(1) 年間の事業概要

平成26年度は、魅力ある博物館づくりを展開することを基本とし、特別展（秋）、企画展（春・夏・冬）を実施した。

春の企画展は「世界に羽ばたいたスカーフたち」を開催し、137点を展示した。「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を応援するために、神奈川県立歴史博物館と横浜開港資料館とともにシルクをテーマにした連携展示『横浜絹回廊』と題して相互にPRを行った。

秋の特別展は「第23回全国染織作品展」を開催し、入選作品78点をした。

夏の企画展は「親と子のかいこの自然科学教室」を行い、「夏休みシルク博物館特別講座」も開催した。冬の企画は運営母体のシルクセンター国際貿易観光会館との連携事業として、平成22年度から実施していた「シルキークリスマス」を「シルキーウィンターフェスティバル」と改名して開催した。このうち博物館では「理科教育用蚕種配布事業」のフォローアップとした「たのしいかいこ」（かいこの観察記録展示）を行った。

常設展の中では実演やリレー展示を行い、変化に富んだ魅力ある展示に努めた。小・中学校で行われている総合的な学習の一環として、先生や子どもたちの来館時の指導に努め、また問合せ(電話、来館)にも対応し、実りある学習成果をあげられるよう職員全員で対応した。

博物館の広報については、関係報道機関等に働きかけると共に、日本大通り駅に特別展開催時のポスター掲示、チラシの配布、懸垂幕の設置などを行ったほか、ホームページを活用して最新情報の提供に努めた。

(2) 展示事業

ア 常設展示

年間を通して蚕の飼育展示、絹製品などができる過程や蚕糸業の歴史、日本の復元時代風俗衣装人形、江戸～現代の日本衣装、掛袱紗、蚕織錦絵、衣食住にかかわる絹製品、アジアを中心とした民族衣装など、さまざまなシルクに関する展示を行った。とくにミニ展示（6回）、連携事業として横浜開港資料館とのコーナー展示、フォト・ヨコハマ2015実行委員会とのパートナーイベントに取り組んだ。また、アンティークストッキングを紹介するリレー展示（全6回、平成27年度まで継続）も開催した。

ア) コーナー展示「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界文化遺産登録記念 『横浜の生糸貿易と生糸商人たち』（「横浜絹回廊」第二弾）

【会期】平成26年7月26日(土)～8月31日(日)（開催期間32日間）

【内容】「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界文化遺産登録記念としてシルクをテーマにした展示を開催した。「横浜絹回廊」第一弾は春の企画展示に開催（p.6参照）。

入館者数(人)

	個 人				団 体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	159	81	13	50	93	35	0	10	423	864
外国人	80	78	6	5	0	0	23	0	24	216
計	239	159	19	55	93	35	23	10	447	1,080

※招待券、優待券など無料入館者

イ) リレー展示「絹とアンティークストッキング TOKITA COLLECTION」

【会期】平成26年12月2日(火)～平成27年3月29日(日)

【内容】平成26年12月2日(火)から平成28年1月まで、アンティークストッキング収集研究家 鶴田章氏のコレクションの中から2か月ごとテーマ別に6回展示を行い、本年度はその中の2回を開催した。

タイトル	会期	開催期間
第1回「シルクストッキングは昔、男性貴族がはいていた —人類初のカットストッキングを再現—	12/2(火)～1/30(金)	42日間
第2回「シルクストッキングのメインカラー「白の世界」 —職人技が光る透かし柄と刺繍—	2/1(火)～3/29(日)	49日間

ウ) ミニ展示「友禅の人間国宝作家田島比呂子^{ひろし}の取材写真と作品」

【会期】平成27年2月1日(日)～28日(土) (開催期間24日間)

【内容】作品と作者の撮影した取材写真を常設展示の田島比呂子コーナーなどに展示した。

また、同時期に開催したフォト・ヨコハマ2015パートナーイベントに参加した。

入館者数(人)

	個人				団体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	232	104	36	110	84	143	22	76	490	1,297
外国人	54	5	10	10	0	0	0	0	3	82
計	286	109	46	120	84	143	22	76	493	1,379

※招待券、優待券など無料入館者

エ) ミニ展示「東京友禅」

【会期】平成26年6月28日(土)～7月21日(月) (開催期間21日間)

【内容】シルク博物館所蔵のモダンで粋な東京友禅の名品を展示公開した。

入館者数(人)

	個人				団体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	308	109	33	90	78	47	109	881	409	2,064
外国人	160	46	19	9	1	0	1	1	19	256
計	468	155	52	99	79	47	110	882	428	2,320

※招待券、優待券など無料入館者

オ) ミニ展示「つまみかんざし」

【会期】平成27年3月1日(日)～3月22日(日) (開催期間19日間)

【内容】職人の巧みな手技により薄い絹布で作られた、小さく、可愛いつまみかんざしを「つまみかんざし講習会」開催に合わせて展示する。

【協力】つまみかんざし博物館

入館者数(人)

	個人				団体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	143	69	14	100	58	84	4	109	411	992
外国人	29	10	20	4	1	1	0	0	7	72
計	172	79	34	104	59	85	4	109	418	1,064

※招待券、優待券など無料入館者

イ 春の企画展 「世界に羽ばたいたスカーフたち」

【会期】平成26年4月26日(土)～6月22日(日)(開催期間50日間)

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県/横浜市文化観光局/神奈川新聞社/t v k
NHK横浜放送局/大日本蚕糸会/横浜繊維振興会

【協力】山村染織工芸/株式会社椎野正兵衛商店/横浜繊維振興会/
舟山進一氏

【内容】平成25年に舟山進一氏から寄贈された昭和30年ごろに横浜から輸出したスカーフや昭和初期に作られた装飾された個性豊かなスカーフなどを展示。

横浜スカーフの魅力を再発見し、横浜の高度な捺染技術がこれから も日本の大切な伝統文化として受け継がれ、絹染色技術の向上と服飾文化の発展、絹の需要増進に寄与することを目的として本展を開催した。

また、今回初めて神奈川県立歴史博物館、横浜開港資料館と「富岡 製糸場と絹産業遺産群」の世界文化遺産登録を目標に、シルクをテーマにした連携イベント「横浜絹回廊」の一環として、相互に他館の企画展観覧券半券の提示による入館料割引を行った。

- 【展示】装飾された輸出スカーフ(舟山コレクション) 90点
色絵手巾、スカーフ等(株式会社椎野正兵衛商店蔵) 4点
ハンカチーフ、原画等(成田コレクション) 5点
スカーフの版木等(岡垣博視氏寄贈資料) 4点
昭和51年ころのスカーフ(横浜ネッカチーフ振興会旧蔵資料) 1式
サリー インド向け輸出用 横浜製 1点
輸出スカーフ(舟山進一氏蔵) 12点
スカーフデザインコンテストの入賞作品
額装スカーフ、スカーフ原画(横浜繊維振興会旧蔵) 17点
特別展示
インド婚礼衣装(山村染織工芸蔵) 2点
1870年代 S.SHOBEY男性用ローブ(株式会社椎野正兵衛商店蔵) 1点

関連行事

種類	日時	行事名	講師等	参加者
体験	5/4(日),11(日),18(日), 25(日)	スカーフ染め体験	博物館職員	計20人
実演	5/10(土), 17(土), 24(土), 31(土), 6/7(土), 14(土), 21(土)	スカーフの華(スカーフの結び方実演)	横浜繊維振興会	計46人
体験	5/10(土), 17(土), 24(土), 31(土), 6/7(土), 14(土), 21(土)	サリー試着	博物館職員	計76人
無料 開放日	6/1(日)	シルクスカーフを使ったファッションショー	横浜ファッションデザイン専門学校	85人
		横浜スカーフ親善大使の紹介	横浜繊維振興会	76人
		ミュージアムコンサート	神奈川フィルハーモニー管弦楽団弦楽四重奏	68人
見学	6/12(木)	捺染工場見学	株式会社丸鈴産業	9人

入館者数(人)

	個 人				団 体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一 般	シニア	高・大	小・中		
日本人	772	362	270	430	318	335	123	1,291	2,243	6,144
外国人	151	90	11	5	0	0	0	0	43	300
計	923	452	281	435	318	335	123	1,291	2,286	6,444

※招待券、優待券など無料入館者

ウ 秋の特別展 「第23回全国染織作品展」

【会期】平成26年10月11日（土）～11月24日（月）（開催期間39日間）

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県/横浜市文化観光局/神奈川新聞社/tvk/NHK横浜放送局/一般財団法人織貿会館/
一般財団法人大日本蚕糸会/一般財団法人日本真綿協会/東京織物卸商業組合/横
浜繊維振興会

【内容】絹を用いた染織作品を広く全国から公募し、専門家による審査のうえ、その
入選作品を一堂に展覧して、次代をになう新進作家の育成及び染織技術の向上
と服飾文化の発展を図るとともに、絹の需要増進に寄与することを目的として
開催した。

【展示】公募作品(186点)のうち入選作品78点

	着物	着尺	帯	そのほか 額・壁掛け等	計	人数
応募	100	9	38	39	186	161
入選	42	6	21	9	78	76

入館者数(人)

	個 人				団 体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一 般	シニア	高・大	小・中		
日本人	573	1,141	149	155	305	206	81	1,048	1,671	5,329
外国人	67	68	2	2	0	23	0	0	11	173
計	640	1,209	151	157	305	229	81	1,048	1,682	5,502

※招待券、優待券など無料入館者

エ 企画展「親と子のかいこの自然科学教室」

【会期】平成26年7月26日（土）～8月17日（日）（開催期間20日間）

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県教育委員会/横浜市教育委員会/神奈川新聞社/tvk/
NHK横浜放送局/一般財団法人日本真綿協会

【内容】理科教育や総合的な学習の一助となることを目的に開催した。県内及び近都
県の小学生等を対象に、親子で蚕の生態観察・糸繰り・はた織りなどを楽しみ
ながら体験し、蚕や絹についての知識を深めていただいた。

【展示】珍しい蚕の飼育観察

天蚕の飼育

蛾の標本

こども向けまゆクラフト

【体験】はた織り

糸繰り・繭人形作り(毎週水・木・金曜日)

小さな真綿作り(毎週火・日曜日)

くみひも作り(毎週土曜日)

生糸のランプシェード作り(毎週土曜日)

【講演等】「かいこの飼育について」(毎週土曜日)

映画「かいこ」の上会(毎週土曜日)

夏休み特別講座 7/26(土) 参加者26人

「むしのせかい」シルク博物館前館長 高桑正敏氏

「かいこのふしぎ」 当館長 坂本英介

入館者数(人)

	個 人				団 体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一 般	シニア	高・大	小・中		
日本人	877	111	27	607	300	53	5	245	849	3,047
外国人	23	5	6	3	1	0	0	0	5	43
計	900	116	33	610	301	53	5	245	854	3,117

※招待券、優待券など無料入館者

オ 企画展「シルキークリスマス・ニューイヤー」

【会期】平成26年12月9日(火)～27年1月12日(月・祝)(開催期間22日間)

【協力】関東学院大学総合研究推進機構/関東学院大学人間環境学部人間環境デザイン学科/
日本ハビタット協会/横浜市工業技術支援センター/
シルクミュージアムショップアソシエーション/協同組合シルクセンターアーケード会

【内容】若い世代を含め、より多くの方々にシルクセンターやシルク博物館に来ていただき、シルクへの理解を深めていただくこと、シルクに関わる産業の振興を図ることを目的に開催した。本年度は5回目となり、関東学院大学横浜工業技術支援センターおよび日本ハビタット協会より展示協力をいただいた。

【展示】シルクで彩るクリスマスデコレーション 協力:関東学院大学(藤本ゼミ)
復興の桑プロジェクト 協力:日本ハビタット協会
横浜輸出スカーフ展示 協力:横浜市工業技術支援センター/関東学院大学
「たのしいかいこ」 15件(643人分) 260点(詳細は別表記載)

「たのしいかいこ」出品団体等

地域	学校園名		作品の種類	人数	点数	賞	
横浜市	青葉区	市立青葉台小学校	3年1組	新聞、冊子、繭人形ほか	35人	33点	最優秀賞
		慶応義塾普通部	1年生	ジオラマ	1人	1点	特別賞
	磯子区	市立汐見台小学校	3年生	観察記録	127人	34点	優秀観察賞
		市立杉田小学校	3年生	まゆ人形	34人	34点	優秀工作賞
	港南区	上永谷保育園		冊子	20人	20冊	優秀観察賞
		横浜市野庭保育園		冊子	19人	20冊	優秀観察賞
	港北区	市立矢上小学校	3年生	まゆ人形	28人	28点	最優秀作品賞
	瀬谷区	市立阿久和小学校	3年1組	観察記録	30人	30点	最優秀観察賞
	鶴見区	市立末吉小学校	4年3組	冊子	34人	1冊	最優秀賞
	西区	市立西前小学校	3年2組	観察記録	36人	9点	優秀観察賞
			3年生		1人	1点	最優秀研究賞
	保土ヶ谷区	市立上星川小学校		まゆクラフト	78人	10点	最優秀工作賞
南区	市立南小学校	3年3組	ランプシェード	86人	2点	優秀工作賞	
	市立上大岡小学校	5年2組	織布、織機	34人	3点	最優秀作品賞	
千葉県松戸市	市立小金北保育所			絵	60人	29点	優秀作品賞
	市立松飛台保育所		ぞうぐみ	まゆ人形、観察日記	20人	3点	優秀賞

関連行事

行事名	実施日	回数	講師、公演者等	参加者
まゆ人形作り (サンタ、トナカイ、まゆリース)	12/13(土)	1回	当館職員	19人
リース講習会	12/13(土)	1回	当館職員	0人
シルクフェア	会期中		シルクミュージアムショップ	
シルキーバーゲン	12/14(日)		協同組合シルクセンターアーケード会	
シルキークリスマスメインイベント ・世界のクリスマス ・クリスマスコーラス ・クラシック ヨコハマ2014 ミュージアムコンサートinシルク博物館 ・横浜スカーフ アーカイブ資料についてお話 ・シルクスカーフを用いた ファッションショー ・かいこのお話 ・プレゼント抽選会	12/14(日) (無料入館日)	1回	マリ クリスティーヌ(当館名誉館長) 横浜少年少女合唱団 横浜市民広間演奏会 横浜市工業技術支援センター長 山内 泉氏 関東学院大学(山崎ゼミ) 館長 坂本英介	64人 100人 75人 46人 54人 21人 24人

入館者数(人)

	個 人			団 体			無料※			入場者計
	一般	シニア	高・大	一般	シニア	高・大	小・中	未就学児	その他	
日本人	170	78	29	133	81	2	589	28	576	1,686
外国人	21	0	5	0	0	0	0	0	1	27
計	191	78	34	133	81	2	589	28	577	1,713

※小中学生(期間中無料のため)、招待券、優待券など無料入館者

このうち、「かいこの観察記録展示会」出品者用招待券利用者 118名

無料入館日の入館者 12/14(日) 213名

(3) 講演会・講習会事業

ア くみひも実演と講習会

くみひもは、鎧や刀の装飾、帯締めなどに使われてきたが、現在は生活の中の装飾品として広く利用されている。丸台を使った実演と帯締めを組む講習会を実施した。

【講師】溝呂木基子(元神奈川県蚕糸検査場技師)

行事名	実施日	回数	参加者
くみひも実演	4/12(土)、5/10(土)、24(土)、7/12(土)、9/27(土)、10/11(土)、25(土)、 11/8(土)、22(土)、12/13(土)、1/24(土)、2/28(土)、3/14(土)、28(土)	16回	
くみひも講習会	6/14(土)・15(日)、 2/14(土)・15(日) 3/7(土)・8(日)	3回 (2日間 で1回)	6人 5人 6人

イ 手作り真綿の実演と講習会

真綿作りの貴重な技術を次の世代に伝えるため、「手作り真綿の講習会」、「こどものための小さな真綿作り」、「真綿からの太糸作り実演と講習会」、「真綿の太糸指編み実演」および「手紬糸作り実演と講習会」を開催した。

【後援】一般財団法人日本真綿協会

【講師】難波ハマ氏(元神奈川県蚕糸検査場技師)、河合貞子氏

七字良枝氏(編み物作家)、田村恭子氏(手紬糸伝統工芸士)

行事名	実施日	回数	講師	参加者
手作り真綿の講習会	6/6(金)、7(土)、8(日) 2/6(金)、7(土)、8(日)	6回	元神奈川県蚕糸検査場技師 難波ハマ 河合貞子	18人
こどものための小さな真綿作り	7/27(火)、29(日)、8/3(日)、 5(火)、10(日)、12(火)、17(日)	7回		308人 ※
真綿からの太糸作り実演	7/6(日)、19(土)、10/18(土)	3回		
真綿からの太糸作り実演と講習会	5/3(土)、4(日)、6/22(日)	3回		9人

真綿の太糸指編み実演	5/11(日)、7/13(日)、20(日)	2回	編物作家 七字 良枝	
手紬糸作り実演	5/5(日)、6(月)、7/21(月)	3回	伝統工芸士 田村 恭子	
手紬糸作り講習会	7/5(土)、11/3(月)	2回		11人

※開催日の小中学生入館者数

ウ まゆ人形作り（子ども向け）

主に小学生を対象としてまゆ人形作りの指導を行った。

行事名	実施日	回数	講師	人数
まゆ人形作り（子ども向け）	1/10(土)、11(日)、3/21(土)、22(日)	4回	当館職員	14人

エ つまみかんざし講習会

七五三やお正月の着物姿の髪飾りなどに使われる「つまみ細工」（薄い小さな絹布をピンセットで折り込んだ、花びらなどの作品）の作り方を指導する。

【実施日】3月15日（日） 受講者 計20人

【講師】石田毅司氏・石田貴志氏（つまみかんざし博物館）

(4) 学習支援事業

ア 理科教育用蚕種配布事業

「かいこ」の飼育及び観察を通して学校などの理科教育や総合的な学習支援などのため県内及び近都県の小学校・幼稚園等に蚕種を配布した。

【配布日】5月16日（金）・17日（土）

【配布先】小学校364校、幼稚園・保育園155園、その他67件 合計586件

【配布数】蚕種約26万粒（13箱分）

【説明会】指導者用の資料として「かいこの飼い方」を配布するとともに、「蚕の飼い方・観察の仕方」説明会を開催。

5月16日（金）14:30～15:30 参加者59名

17日（土）10:00～11:00 参加者82名

13:00～14:00 参加者45名

14:30～15:30 参加者18名 計204名

蚕種配布先（件数）

	小学校	幼稚園 保育園	高校 特別学校	団体	個人	計
横浜市内	142	136	3	1	29	311
神奈川県内	174	15	3	3	12	207
東京都内	47	1	5	1	5	59
ほかの地域	1	3	2	0	3	9
計	364	155	13	5	49	586

イ 博物館実習生の受入れ

実習内容 ・オリエンテーション（シルク博物館の展示運営と取組み）
 ・普及活動実習（「親と子のかいこの自然科学教室」での来館者へのかいこの飼育観察や体験学習の指導、蚕の飼育）

受入校 6大学8人

実習期間	大学名	学年	人数
7/23(水)～8/5(火)	関東学院大学	4年	1名
	共立女子大学	4年	1名
	日本女子大学	4年	1名
8/5(火)～8/19(火)	学習院大学	4年	1名
	共立女子大学	4年	1名
	専修大学	3年	1名
	日本大学	4年	1名

ウ 社会体験研修受入れ

普及活動実習として「親と子のかいこの自然科学教室」開催時に来館者へのかいこの飼育観察や体験学習の指導体験

5年経験者：神奈川県立百合丘高等学校教諭

10年経験者：鎌倉市立第二小学校教諭、鎌倉市立玉縄小学校教諭

(5) 後援等事業

	事業名	主催	会期	事業内容	
後援名義使用	平成26年度第1回企画展示「“蚕の化せし金貨なり…”－明治大正の生糸産地と横浜」	横浜開港資料館	4/19(土)～7/13(月)	日本の近代製糸業の発展を支えた横浜の役割と、横浜の生糸市場へ自らの生糸を売ろうとする生産者側の多様な活動の企画展示。	後援名義使用
	2014年「横浜ファッションウィーク」	横浜ファッションウィーク実行委員会	4/25(金)～5/6(火)	横浜市内のファッション産業の振興、生活文化産業の発展を目指し、横浜の代表的な地場産品である「横浜スカーフ」の復興事業。	後援名義使用
	「第20回真綿のヴィジュアル・アート」	一般財団法人日本真綿協会	12/10(水)～15(月) 応募締切 10/20(日)	真綿を素材とした作品の公募によるアート展	後援名義使用
	「第9回真綿を使った小物作り」	一般財団法人日本真綿協会	応募締切 1/20(火)	真綿を素材とした作品の公募	後援名義使用

協力	「第11回試作竹 箴と織布展」	日本竹箴技術 保存研究会	11/20(木) ～24(月)	「第23回全国染織作品展」開催時 にイベントホールの一部を展示実 演会場として日本竹箴技術保存研 究会に無償提供し、同会員等の優 待入場、広報協力を行った。	会場提供、 会員の優 待入場
----	--------------------	-----------------	--------------------	--	----------------------

(6) テレビ・新聞・雑誌等による取材報道

	主な取材内容	放映・掲載日	放送局・新聞社	番組名、掲載欄等
テ レ ビ	春の企画展「世界に羽ばたい たスカーフたち」	5/9(金)	tvk	「tvk NEWS ハーバー」
		6/13(金)～ 15日(日)	YCVチャンネル	「地域情報便 じもっと！」
	夏の企画「親と子のかいこの自 然科学教室」	7/26(土) (2回放送)	tvk	「tvk ニュース&天気予報」
	シルク博物館の紹介	5/31(土)	tvk	「ハマナビ」開港都市 ヨコハ マ
	シルク関連	1/1(木) ～31(土) (リポート放送)	YOUテレビ	「横浜ミストリー」富岡製糸場 と横浜の原三溪ー横浜発！ 世界を魅了したシルクー」
新 聞 報 道	春の企画展 「世界に羽ばたいたスカーフたち」	4/25(金)	染織文庫	
		4/26(土)	染織新報	
		5/2(金)	日本経済新聞	
			神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		5/9(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		5/14(水)	神奈川新聞	
		5/16(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		5/20(火)	読売新聞(夕刊)	シティライフ
		5/23(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		5/27(火)	朝日新聞	
			読売新聞(夕刊)	シティライフ
		5/30(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		6/3(火)	読売新聞(夕刊)	シティライフ
		6/6(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		6/10(火)	読売新聞(夕刊)	シティライフ
		6/13(金)	神奈川新聞	
			神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		6/17(火)	読売新聞(夕刊)	シティライフ
		6/20(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
	夏の企画「親と子のかいこの自 然科学教室」	6/21(土)	神奈川新聞	
		7/29(火)	織研新聞	

新聞報道	秋の特別展 「第23回全国染織作品展」	10/10(金)	染織文庫	
		10/17(金)	産経新聞	
			神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		10/24(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		10/31(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		11/4(火)	織研新聞	
		11/7(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		11/14(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
		11/21(金)	神奈川新聞	ミュージアム・ナビ
	企画展「シルキークリスマス」	12/2(火)	織研新聞	
		12/16(火)	産経新聞	
	連携事業「横浜絹回廊」 主催:シルク博物館 横浜開港資料館	4/30(水)	神奈川新聞	
		5/6(火)	朝日新聞	
		5/19(月)	朝日新聞4	
	協力事業「横浜生糸地図」 ウォークラリーキャンペーン 主催:横浜市	12/8(月)	上毛新聞	
		12/13(土)	神奈川新聞	
		12/17(水)	朝日新聞	
	『まゆるんの豆知識』読者プレゼント	5/15(木)	神奈川新聞	
	『シルク博物館招待券』プレゼント	5/20(火)	毎日新聞	
	シルク博物館の紹介	6/25(水)	毎日小学生新聞	

(7) 資料収集・活用事業

ア 収集資料 39点

(ア) 購入 10点

	資料名	点数	購入先
資料	着物「寧日」 （「第23回全国染織作品展」シルク博物館大賞）	1	平林芳子
	着物「曲水の宴」 （「第23回全国染織作品展」シルク博物館賞）	1	大野邦子
図書	『美しいキモノ 2014年夏号(248号)』	1	タミヤ書店
	『美しいキモノ 2014年秋号(249号)』	1	タミヤ書店
	『美しいキモノ 2014年冬号(250号)』	1	タミヤ書店
	『美しいキモノ 2015年春号(251号)』	1	タミヤ書店
	『日本の蚕糸のものがたり—横浜開港後150年 波乱万丈の歴史』	2	シルクミュージアムショップアソシエーション
DVD	「友禅 森口邦彦のわざ」(英語版)	1	株式会社日経映像
	「献上博多織 小川規三郎のわざ」(英語版)	1	株式会社RKB映画社

(イ) 寄贈 29点

	資料名	点数	寄贈者
資料	二曲屏風「染色楽園」 木村雨山	1点	藤井健三
	留袖「扇面模様」 木村雨山	1領	藤井健三
	武藤馨氏資料	1式	武藤やよひ
	丸帯(明治20年代)	1本	速水千代子
	掛け袱紗	2点	
	振袖	1領	宮崎重行、田中義恭
	留袖	3領	
	壁掛け「鏡湖逍遥」 (「第23回全国染織作品展」日本真綿協会賞)	1点	大和恵子
	糸繰り器	1点	西原トク子
	写真「ジャーディン・マセソン商会の生糸倉庫」	2枚	庭屋恵一
DVD	『安曇野 穂高の天蚕』	1枚	安曇野市天蚕振興会
	『純国産宝絹』宣伝用DVD	1枚	一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
図書	『恵那の蚕糸業のあゆみ—養蚕組合と組合製糸を中心に』	1冊	恵那シルクの会
	『昭憲皇太后百年祭 美しきみこころとおすがた —昭憲皇太后を偲び奉る—』	1冊	明治神宮
	昭憲皇太后百年祭記念展『昭憲皇太后の御生涯』	1冊	
	御歌とみあとでたどる明治天皇の皇后 『昭憲皇太后のご生涯』	1冊	
	『昭憲皇太后実録』上・中・下巻	3冊	
	横浜郷土双書第1巻『横浜もののはじめ』	1冊	安藤雅之
	『海のシルクロードを調べる事典』	1冊	
	『神奈川人物風土記』	1冊	
	東洋文庫156『ヤング・ジャパン I 横浜と江戸』	1冊	
	『道の文化』	1冊	大野美也子
	『1859 日本初の洋装絹織物ブランド S.SHOBEY』	1冊	

イ 所蔵資料などの貸出 12件33点

貸出先	点数	使用目的	会期	貸出資料
公益社団法人日本工芸会東日本支部	1	「第54回東日本伝統工芸展」会員の遺作品の展示 東京展(日本橋三越) 盛岡展(川徳百貨店)	4/16(水)~21(月) 5/8(木)~13(火)	訪問着「たづがね」縮緬地友禅染 田島比呂子
黒川豊子	1	個展 会場:草月会館 イサム・ノグチ石の庭	4/16(水)~ 18(金)	着物「豌豆」 黒川豊子

横浜開港資料館	4	「“蚕の化せし金貨なり…” —明治大正の生糸産地と横浜」	4/19(土)～ 7/13(月)	錦絵「東京築地舶来ぜんまい大仕掛け絹糸を取る図」 芳虎
				錦絵「大日本内国勸業博覧会製糸機械之図」 蜂須賀国明
				『List of Exhibits of JAPAN RAW SILK at the Worlds Columbian Exposition』 by DOSHIN SILK Co., Ltd.
				掛田折返糸
佐藤泰子	1	個展(会場:ギャラリー鏤美)	4/22(火)～4/26(土)	訪問着「ようよう」紬地臈纈染 佐藤泰子
神奈川県立歴史博物館	3	明治大学クリスチャン・ボラックコレクション「繭と鋼—神奈川とフランスの交流史—」展	4/26(土)～6/22(日)	束装生糸「猪口造り」
				アンペラ(模型)
				蚕標本模型
公益社団法人日本工芸会東日本支部神奈川研究会	1	「第22回伝統工芸・神奈川会展」 (会場:鎌倉芸術館ギャラリー)	8/28(木)～9/2(火)	訪問着「チベットの峠」 田島比呂子
公益社団法人日本工芸会	1	「第61回日本伝統工芸展」 会場:日本橋三越本店 名古屋栄三越 京都高島屋 あべのハルカス近鉄百貨店本店 石川県立美術館 岡山県立美術館 島根県立美術館 香川県立ミュージアム 仙台三越 福岡三越 松山三越 広島県立美術館	9/17(水)～29(月) 10/1(水)～6(月) 10/8(水)～13(月) 10/16(木)～22(水) 10/31(金)～11/9(日) 11/13(木)～30(日) 11/13(木)～30(日) 1/2(金)～18(日) 1/22(木)～27(日) 2/3(火)～8(日) 2/17(火)～22(日) 2/25(水)～3/15(日)	訪問着「やえざくら」 田島比呂子
大阪市立美術館	3	『うた・ものがたりのデザイン—日本工芸にみる「優雅」の伝統』	10/28(火)～12/7(日)	単衣「紫紵地鞭轡に庭園風景(小督物語)模様染繡」 江戸後期
				小袖「緑縮地扇車柴唐戸に草花流水の風景(能・通小町)模様染繡」 江戸後期
				振袖「浅葱縮緬地桜滝に鼓(能・鼓の滝)模様染繡」 江戸後期
ルミネ横浜店	2	横浜スカーフの催事販売	10/20(月)～30(木)	ロールスクリーン「絹と横浜」
				ロールスクリーン「横浜のスカーフ」

文化庁	7	『「日本のわざと美」展－重要無形文化財とそれを支える人々－』 (会場:堺市博物館)	11/15(土) ～1/12(日)	生地「藍地唐花文羅」 喜多川平朗
				袴地「松濤」精好仙台平 甲田栄祐
				帯「七献立献上博多織」 小川善三郎
				訪問着「花」縮緬地臈纈友禅染 木村雨山
				留袖「雲文」縮緬地友禅染繡 中村勝馬
				伊勢型紙「御所伽」 南部芳松
				伊勢型紙「道具彫亀甲菱菊」 中村勇二郎
出井麻由美	1	「文星芸術大学・宇都宮文星短期大学教員作品展」(会場:東武宇都宮百貨店 5階特別催事場)	2/4(水) ～2/11(月)	訪問着「ないしょのおはなし」紬地友禅染 出井麻由美
一般社団法人海外農業開発協会	8	シンポジウム「新シルクロードへの創造」 (会場:岡谷市文化会館「カナホール」) 「親子で探る絹の道 岡谷編」 (会場:岡谷商工会議所会議室)	1/30(金)	ロールスクリーン1「世界の養蚕の起源、日本の養蚕の起源」
			1/31(土)	ロールスクリーン2「横浜開港と幸運な生糸輸出の始まり ほか」
				ロールスクリーン3「明治時代の生糸の輸出先 ほか」
				ロールスクリーン4「開港当初の輸出生糸の主な生産地 ほか」
				ロールスクリーン5「開港当初の生糸の束装 ほか」
				ロールスクリーン11「各地からの「絹の道」 ほか」
				ロールスクリーン13「開港以来の日本の生糸産業の変遷 ほか」
				ロールスクリーン14「蚕糸王国日本を支えた蚕糸科学技術 ほか」

ウ 資料の特別利用 9件22点

申込・掲載者	利用資料(撮影、掲載)	点数	掲載誌等
NHK前橋放送局	総(生糸)	5件	NHK総合テレビ「歴史秘話ヒストリア」
	束装生糸「長手造り」		NHK総合テレビ 特集番組 「なるほどスゴイ富岡製糸場」
	束装生糸「猪口造り」		
	アンペラ(模型)		
	錦絵「上州富岡製糸場之図」		
株式会社パラダイス・カフェ	館内風景	5件	関東学院大学HP 『横浜学－横浜のシルク』 「第3回 横浜のシルク」
	アンペラ(模型)		
	束装生糸「猪口造り」		
	束装生糸「長手造り」		
	リーフレット		
中央蚕糸協会	錦絵「横浜英吉利西商館繁栄之図」	1点	『日本の蚕糸のものがたり～横浜開港後150年 波乱万丈の歴史』 大成出版社発行
有限会社アートエフ	復元日本時代風俗人形 平安時代 「公家の正装、女子唐衣装姿(十二単)」	1点	「兵庫県版入試模擬 6回」 学書発行

株式会社ハースト婦人画報社	訪問着「揺影(一)」田島比呂子	16点	『美しいキモノ』(2014年夏号)
	訪問着「揺影(四)」田島比呂子		
	訪問着「天帯」田島比呂子		
	訪問着「たづがね」田島比呂子		
	訪問着「葦原」田島比呂子		
	訪問着「雪原」田島比呂子		
	訪問着「雪原」(部分)田島比呂子		
	訪問着「たづむら」田島比呂子		
	訪問着「かつら」田島比呂子		
	訪問着「からまつ」田島比呂子		
	訪問着「みずうみ」田島比呂子		
	訪問着「雁」田島比呂子		
	訪問着「富士松黄耀」田島比呂子		
	訪問着「あやめ」田島比呂子		
	訪問着「礼文の霧」田島比呂子		
	訪問着「礼文の霧」(部分)田島比呂子		
株式会社ユニット	繭糸外国輸出の図(『皇国養蚕図絵』より)	1点	BSジャパン「空から日本を見てみよう」
文化服装学院 テキスタイル関連研究室	ムガサン(繭)	5点	文化祭における展示、授業の資料
	エリサン(繭)		
	クリキュラ(糸)		
	ヨナクニサン(繭・糸)		
	アナフェ(繭・糸)		
University of Colorado at Boulder	復元日本時代風俗人形 明治時代後期「女子学生袴姿」「女子羽織姿」	2点	コロラド大学 講座紹介(ウェブサイト)
	復元日本時代風俗人形 大正時代「男子羽織袴姿」「婦人外出姿」		
さいたま絹文化研究会	銅像「絹と女」 安田周三郎	1点	さいたま絹文化研究会会報
横浜市道路局計画調整部企画課	横浜への「絹の道」	5点	地図展「横浜のまち みち みなと」(横浜市展示ブース)
	「東北・関東・東山から横浜への絹の道」		
	「横浜周辺拡大地図」		
	「白根村道橋改修碑(横浜市)附近の風景写真」		
	八王子市鏈水「絹の道」		

(8) シンクタンク機能

大野美也子

種別	内容	掲載・開催日	詳細	協力先等
執筆	『美しいキモノ』2014年夏号(No.248)		「田島比呂子の遺芳」監修	ハースト婦人画報社
	『手づくり手帖』Vol.04 2015年2月号	12/2日発行	「美しい日本の絹」	
講師	平成26年度研究会		「シルク博物館の常設展示見学」	公益社団法人日本工芸会東日本支部神奈川研究会
	「美しいキモノ」アカデミー	6/21(土)		ハースト婦人画報社
委員	平成26年度工芸技術記録映画製作委員会		同委員	文化庁
	平成26年度無形文化財工芸技術資料買取評価会		同評価員	文化庁

(9) ボランティアによる博物館活動の支援

ボランティア3名により、外国人団体利用の希望(事前予約)を受けて「きもの試着」を行った(10月30日(木) Tasmanian craft guild 8人)。

(10) 協力事業

事業名	主催	期間	協力内容	参加人数
横浜絹回廊 ①「繭と鋼―神奈川とフランスの交流史」 ②「“蚕の化せし金貨なり…”―明治大正の生糸産地と横浜」 ③「世界に羽ばたいたスカーフたち」	①神奈川県立歴史博物館 ②横浜開港資料館 ③シルク博物館	4/19(土)～ 7/13(日)	「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界文化遺産登録を応援するため、シルクをテーマにした特別展の連携展示。相互に特別展観覧券の提示による入館料割引を実施。	
「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界文化遺産登録応援キャンペーン		6/7(土)～ 22(日)	オリジナル記念品プレゼント(当館:生糸とまゆるんクリアファイルA5)	
横浜絹回廊 第二弾 ①『おしえて! ヒストリー「群馬―生糸―ヨコハマ」』 ②「横浜の生糸貿易と生糸商人たち」	①横浜開港資料館 ②シルク博物館	7/26(土)～ 8/31(日)	「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録記念としてシルクをテーマにした連携展示。	

2014 第12回バレエコンクールIN横浜	公益財団法人 日本バレエ協会	5/2(金) ～5(月)	オリジナル船スカーフ 6枚 春特別展招待葉書20枚 春特別展広報チラシ200枚	約800人
児童福祉週間	神奈川県	5/5(月)～11(日)	小中学生 入館料無料	46人
国際博物館の日	日本博物館協会	5/18(日)	所蔵品目録 20冊	20人
ミュージアム・クイズラリー よこはま2014	神奈川県立歴史博物館	7/19(土)～ 8/31(日)	クイズノート持参者に団体 割引	218人
平成26年度かながわ サイエンスサマー	神奈川県	7/19(土)～ 8/31(日)	「親と子のかいこの自然科学 学教室」情報提供	3,117人
第7回かながわ子ども・ 子育て支援月間(8月)	神奈川県	8/2(土)、 9(土)、16(土)	小中学生 入館料無料	207人
フォト・ヨコハマ2015	フォト・ヨコハマ実行 委員会	2/1(日)～ 28(土)	パートナーイベント参加「友 禅の人間国宝作家田島比 呂子の取材写真と作品」	
横濱生糸地図	横浜市	11/15(土)～ 3月末	パンフレット持参者に団体 割引	825人
サンケイリビング横浜バス ツアー	サンケイリビング新聞 社横浜支部	7/22(火)	リーフレット150部 招待券20組(40名様分)	143人
横浜ベイシェラトン&タワ ーズ地下緩衝帯スカーフ 展示	横浜繊維振興会	11月～	オリジナル復刻スカーフ	

(11) 視察等

視察日	団体	人数
7/5(土)	前橋市文化観光課歴史文化遺産活用室	23人
8/8(金)	関東経済産業局	6人
8/8(金)	八王子織物協同組合	18人
8/29(金)	関東運輸局	3人
1/20(火)	横浜市港湾局	7人

5 資料

(1) 組織と職員

博物館部長（館長）(1) 博物館次長兼課長（副館長）(1)

課長補佐(1) 事務職員(1) アルバイト(4)

(2) 事業費

費 目	内 容	支 出
博物館事業費		9,243,034
内訳)		
普及事業費	常設展示費・特別展開催等	8,120,054
資料整備費	資料補修費・図書資料等収集費	243,542
広報事業費	広告掲載費	266,968
運営管理費	運営委員会開催費・損害保険料	612,470

※一般財団法人に移行したため、本年度より表記が変りました。

(3) 所蔵資料

	26年度収集		総数
	購入	寄贈	
資 料	2	12	6,107
写真・ビデオなど	2	4	612
図 書	6	13	6,534
計	10	29	13,253

(4) 入館者状況

	個人				団体				無料※	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中	その他	
4月 【22日】	239 (80)	159 (78)	19 (6)	55 (5)	93 (0)	35 (0)	23 (23)	10 (0)	447 (24)	1,080 (216)
5月 【27日】	521 (57)	249 (29)	251 (5)	258 (0)	159 (0)	222 (0)	48 (0)	644 (0)	1,166 (23)	3,518 (114)
6月 【21日】	421 (100)	190 (65)	28 (6)	189 (5)	143 (0)	103 (0)	76 (0)	657 (0)	1,077 (20)	2,884 (196)
7月 【27日】	659 (156)	178 (37)	67 (20)	292 (11)	152 (2)	51 (0)	109 (1)	997 (1)	574 (19)	3,079 (247)
8月 【27日】	878 (43)	138 (19)	27 (12)	527 (3)	308 (0)	71 (0)	7 (0)	225 (0)	1,051 (7)	3,232 (84)
9月 【21日】	251 (47)	137 (35)	17 (4)	89 (1)	80 (0)	17 (0)	92 (25)	364 (0)	346 (5)	1,393 (117)
10月 【24日】	296 (43)	1,020 (55)	48 (3)	87 (1)	184 (0)	104 (23)	67 (1)	237 (0)	660 (10)	2,703 (136)
11月 【23日】	414 (36)	244 (19)	122 (2)	98 (1)	203 (0)	135 (0)	15 (0)	852 (0)	1,126 (4)	3,209 (62)
12月 【20日】	135 (15)	93 (0)	33 (5)	6 (0)	165 (0)	68 (0)	6 (0)	68 (0)	1,041 (1)	1,615 (21)
1月 【23日】	206 (27)	80 (3)	35 (2)	40 (0)	47 (3)	59 (0)	14 (0)	128 (0)	495 (8)	1,104 (43)
2月 【24日】	286 (54)	109 (5)	46 (10)	120 (10)	84 (0)	143 (0)	22 (0)	76 (0)	493 (3)	1,379 (82)
3月 【26日】	274 (53)	107 (12)	49 (21)	116 (5)	89 (1)	94 (1)	5 (0)	112 (0)	583 (0)	1,429 (93)
計 【285日】	4,580 (711)	2,704 (357)	742 (96)	1,877 (42)	1,707 (6)	1,102 (24)	484 (50)	4,307 (1)	9,059 (124)	26,625 (1,411)

【 】開館日数 ()外国人

総入館者数 1,943,085人 (昭和34年3月12日～平成27年3月31日)

(5) 過去の特別展・企画展一覧

年度	特 別 展 等
1959(昭和34)	シルクセンター竣工記念全国輸出振興展
	特別展『蚕織錦絵展』
1960(昭和 35)	特別展『近世日本衣装名品展』
1961(昭和 36)	特別展『近代染織名作展』
1962(昭和 37)	特別展『日本伝統染織工芸展』
1964(昭和 39)	特別展『オリンピック東京大会記念シルクフェア』
1965(昭和 40)	特別展『能装束展』
1966(昭和 41)	「第 8 回米国貿易見本市出品絹製品展示会」
	特別展『伝統染織作品と紅染資料展』
1967(昭和 42)	特別展『紋と繡の美展』
1968(昭和 43)	特別展 開館 10 周年記念『シルク博物館所蔵品展』
1969(昭和 44)	特別展『江戸時代能装束展』
1970(昭和 45)	特別展『花のきものと髪かざり展』
	特別展『第 1 回シルク博物館染織作品展』
1971(昭和 46)	特別展『第 2 回シルク博物館染織作品展』
1972(昭和 47)	特別展『第 3 回シルク博物館染織作品展』
1973(昭和 48)	特別展『第 4 回シルク博物館染織作品展』
1974(昭和 49)	特別展『第 5 回シルク博物館染織作品展』
1976(昭和 51)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
1977(昭和 52)	特別展『世界の民族衣装展』
1978(昭和 53)	特別展『人間国宝による「絹の伝統染織名作展」』
1979(昭和 54)	特別展『横浜絹の祭典と染織新作展』
1980(昭和 55)	特別展『思い出のきもの展』
1981(昭和 56)	特別展『草木染展と染織新作展』
1982(昭和 57)	特別展『洋装のあゆみとニューファッション展』
1983(昭和 58)	特別展『ふるさとの絹展と第 8 回染織作品展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
1984(昭和 59)	特別展『花嫁衣装展』
	特別展『江戸期から現代までの「江戸小紋展」』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『郷土かながわの染織作品展』
1985(昭和 60)	特別展『日本人形の細工物展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『フランス絹織物栄光とその先達「リヨン織物美術館秘蔵品展」』

1986(昭和 61)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『関東の絹展と第 9 回染織作品展』
1987(昭和 62)	特別展『レースの美展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ファッションデザイナーによる'87 ニューウェーブきもの展』
1988(昭和 63)	特別展『ふろしきの今昔展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『'88 ニューシルク展と第 10 回染織作品展』
1989(平成元)	特別展『シルク博物館所蔵名品展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『華麗なる絹の世界へ「絹の文化展」～江戸と現代～』
1990(平成 2)	特別展『「日本の紬展」～紬のふる里を訪ねて～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクまつり'90 と第 11 回染織作品展』
1991(平成 3)	特別展『館蔵「蚕織錦絵展」～錦絵にみる時代風俗と衣装～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～桂由美コレクション～「世界の民族花嫁衣装展」』
1992(平成 4)	特別展『館蔵「染織名品展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'92 と第 12 回染織作品展』
1993(平成 5)	特別展『館蔵「江戸小袖展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「絹と化粧まわし展」～戦後横綱の化粧まわしによる～』
1994(平成 6)	特別展『館蔵「江戸古裂展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェスタ'94 と第 13 回染織作品展』
1995(平成 7)	特別展『～繡の美～「甞足柄刺繡展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「思い出のきもの展」－PART II－～昭和・平成の衣裳作品から～』
1996(平成 8)	特別展『～日本人の贈りもの～「掛袷紗展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'96 と第 14 回染織作品展』
1997(平成 9)	特別展『アヅマカブキの舞踊衣装展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～手織りの芸術美～「ラオスの伝統織物展」』

1998(平成 10)	特別展『カイコの道具展とシルクフェア'98』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 15 回染織作品展と秋のシルクフェア』
1999(平成 11)	特別展『文化の伝承—江戸から現代へ「華麗なる能装束の美」展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『染めの美織りの美 ～人間国宝作家作品を中心として～』
2000(平成 12)	特別展『沖縄の伝統染織展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 16 回全国染織作品展』
2001(平成 13)	特別展『人生をかけた荒井照太郎の手描友禅その美』
	企画展『「熊田千佳穂の昆虫記録展」と親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ブータンの民族衣装とシルクフェア』
2002(平成 14)	特別展『中村光哉友禅染色の詩展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 17 回全国染織作品展とシルクフェア』
2003(平成 15)	特別展『糸目友禅の巧み「人間国宝 山田貢展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『市田ひろみコレクション「世界の民族衣装展」』
2004(平成 16)	特別展『自然をいつくしむ手描友禅「人間国宝 田島比呂子展」』
	企画展『親と子の「歌舞伎人形とかいこの自然科学教室」』
	特別展『第 18 回全国染織作品展』
2005(平成 17)	特別展『世界のふろしき展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『今に伝えるつむぎの魅力』
2006(平成 18)	特別展『「人間国宝 細見華岳展」—綴織に心を込めて—』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 19 回全国染織作品展』
2007(平成 19)	特別展『インド サリーの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『旧山辺知行コレクション「インドの染織展」』
2008(平成 20)	特別展『アロハ・デザイン展』
	特別展『ラオス女性が伝える手織りの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 20 回全国染織作品展』
2009(平成 21)	特別展『佐賀錦のみやびな世界「人間国宝 古賀フミ展」』
	特別展『開館 50 周年記念「ヨコハマ開港とシルク展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『鈴木一コレクション「古渡り更紗と名物裂展」』

2010(平成 22)	特別展『ペルシャシルク絨毯の世界』
	特別展『華麗なる能装束「稔りの季」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 21 回全国染織作品展』
2011(平成 23)	特別展『「三浦景生展」ーヨコハマ染陶暦程ー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー平山郁夫シルクロード美術館コレクションー 「豊饒なる色彩ーウズベキスタンの布と器」』
2012(平成 24)	特別展『「美しい日本の絹」 ユミ カツラプライダルコレクション』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 22 回全国染織作品展』
2013(平成 25)	特別展『群馬県立日本絹の里との提携記念 「夢を紡いだシルク」ー「蚕の国」群馬と「シルクの街」ヨコハマー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー美しい日本の絹ー「友禅」』
2014(平成 26)	企画展『世界に羽ばたいたスカーフたち』
	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
	特別展『第 23 回全国染織作品展』

シルク博物館平成 26 年度年報

平成 27 年 11 月 20 日発行

編集・発行 シルク博物館

〒231-0023

神奈川県横浜市中区山下町 1 番地

Tel. 045-641-0841